

教育研究業績		
2025年5月1日		
氏名		浅石 梨沙
研究分野	学位	
管理会計、原価計算	博士（商学）	
研究内容のキーワード		
コスト・マネジメント、顧客志向、サービタイゼーション、プライシング		
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例	2024年9～2月	ゼミナールにて、株式会社KANDOおよびりそな銀行の協力のもと、角川武蔵野ミュージアムへの新規事業提案を行った。
	2023年6～7月	ヒューマンサービスセンター（HSC）の取り組みとして、狭山市入間川七夕まつりに出展する「やらい飾り」の制作・展示する学生のボランティア活動をHSC委員の教員2名とともに基礎演習受講者を指導（事務局、サービスイノベーションセンター（SIC）と連携）
	2022年9月～1月	専門科目について、オンデマンド型の動画配信による授業を実施した。オンライン学修支援システムの掲示板機能およびアンケート機能を併用し、適宜学生からの質問を受け付けるよう工夫した。学生からの質問に対する回答を動画内に織り込むことによって、対面授業における質疑応答による学習効果向上と同様の効果をオンデマンド型の動画配信でも享受できるように工夫した。
	2020年5月～2021年1月	専門科目など特に学生の理解度を確認しながら授業を進める必要のある科目について、Zoomを用いた同時双方向型の授業を実施した。教員側が一方的に話している内容を配信するだけに終わらないよう、通常の教室講義よりも意図的に学生に質問をする機会を多く設けた。質問は音声だけでなくチャットでも受け付け、これによって普段は発言に躊躇してしまう学生からも意見を得ることを企図した。くわえて、毎週小テストを実施し、学生の理解度を丁寧に確認し、補足で説明が必要であると思われる部分については、説明資料を提供するとともに必要に応じて口頭でも補足説明を行うようつとめた。
	2020年5月～2021年1月	オンラインという環境を生かし、担当科目の適正をみきわめたうえで、資料配信型（オンデマンド）によって講義時間にとらわれない自由な学習スタイルを学生に提供した。学習時間が自由となることで学習ペースが乱れないよう、資料の提供は毎週定時に行い、1回の学習量として適切とおもわれる分量となるよう配慮した。また、大学ポータルサイトに備えられている小テスト機能を活用し、学生に問題演習の機会を提供した。この小テストでは学生には即時に採点結果および誤答に対する解説がフィードバックされるよう設定されており、学習時間を自由に確保することのできる資料配信型の授業形式が有効に働くよう工夫している。
	2020年5月～2021年1月	Zoomを用いたオンラインでの演習を実施した。アンケート機能、投票機能やブレイクアウトルームといった各種の機能を積極的に活用することで、学生個々のこれまでの学習状況や興味関心を把握し、対面に劣らない演習の実施が可能となるよう工夫した。
	2020年7月10日	一橋大学の原価計算の講義にゲストスピーカーとして登壇し、自身の研究テーマと関連の深い価格決定と目標原価計算について講義を行った。
2 作成した教科書、教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		

JA全中 農協監査士養成Web講習 管理会計論講師	2023年-現在	JA全中教育部が実施する農協監査士試験のためのWEB講習で管理会計論（全7回）の講義を担当		
JA全中 JA経営マスターコース 管理会計論講師	2023年-現在	JA全中教育部が実施するJA経営マスターコースにおいて管理会計論（全9回）の講義を担当		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日	概 要	
1 資格, 免許		2010年11月21日 2012年7月8日	日本商工会議所簿記検定1級 全国経理教育協会簿記能力検定上級	
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研究業績等に関する事項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1 『検定簿記講義 2級工業簿記 2025年度版』	共著	2025年3月	中央経済社	日本商工会議所簿記検定・2級工業簿記のテキストである。このうち、総合模擬問題（3回分）を浅石が担当している。
(学術論文)				
1「市場志向における管理会計の役割期待に関する研究—製品・サービスの企画・開発段階に焦点をあてて—	単著	2018年3月	一橋大学博士学位論文	市場志向に関するこれまでの管理会計研究のレビューにもとづいて、市場志向の実現における管理会計の役割期待を分析・考察した論文である。
2「原価企画の今日的課題と対応に関する実態調査」	共著	2020年7月	『産業経理』80(2): 137-147	企業に対する質問票調査によって、原価企画に関する実態を調査するとともに今後の研究の展望を考察した論文である。
3「管理会計がファミリービジネスの事業承継に与える影響：コマニー株式会社におけるアメルバ経営の事例研究」	共著	2020年3月	『立正経営論集』52(2): 81-92.	事業承継を経験した企業において、管理会計システムの1つであるアメルバ経営がこの事業承継に与えた影響を分析した論文である。
4「サービタイゼーションをめぐる管理会計研究の課題—プリンティング・ソリューションにおける事例分析をもとに—	共著	2020年7月	『産業経理』80(2): 137-147	近年増加しているサービタイゼーション戦略について、具体的な企業事例を分析することで管理会計研究としての課題を考察した論文である。
5「サービタイゼーション戦略における原価企画研究：PSSの概念整理とTLCの分析視角」	共著	2021年11月	『会計』200(5): 534-548	サービタイゼーションの文脈においてたびたび用いられるPSS概念を整理し、ここにTLCの視角を導入することで、サービタイゼーション下の原価企画のあり方を検討するための研究課題を考察した論文である。
6「サービタイゼーション戦略における原価企画とLCCの課題」	共著	2021年12月	日本管理会計学会スタディグループ「原価企画の今日的課題と対応<最終報告書>」第5章所収: 53-70	サービタイゼーション戦略とLCCの関係について整理し、サービタイゼーション下での原価企画における研究課題を考察した論文である。
7「サービタイゼーションにおけるサービス・パラドックス問題と原価企画」	単著	2021年12月	日本管理会計学会スタディグループ「原価企画の今日的課題と対応<最終報告書>」第2章所収:17-24	サービタイゼーションで生じるサービス・パラドックス問題に関する先行研究をレビューし、この問題を克服するための原価企画のあり方を検討するための視点を考察した論文である。
8「事業承継と管理会計：六甲バター株式会社の後継者を育成したアメルバ経営」	共著	2022年3月	『管理会計学』30(1): 73-88	事業承継を経験した企業において、アメルバ経営が後継者の経営能力をいかに育成し、事業承継の円滑化に寄与したかを明らかにした論文である。

9「管理会計が後継者の信頼関係とパフォーマンスに与える影響」	共著	2022年	『社会関連会計研究』34：21-35	事業承継を経験した企業の従業員に対して実施した企業内アンケート調査をもとに、管理会計手法の1つであるアメーバ経営が後継者と従業員との信頼関係および業績にどのように影響を与えているかを分析した論文である。
10「訪問看護事業所の経営安定化に関する研究の動向と今後の課題」	共著	2022年7月	『サービス経営学部研究紀要』40：3-14	訪問看護事業所の経営安定化に関連する先行研究について文献レビューを実施し、その内容をもとに、今後の研究課題について検討した論文である。
11「事業承継におけるフィロソフィの役割：イノチオアグリにおけるイノチオ面談の事例」	共著	2023年1月	『産業経理』82(4)：55-63	事業承継を経験した企業に対するインタビュー調査にもとづき、フィロソフィがどのような役割を果たしたのかを、同社で実施されている独自の従業員面談との関連から検討した論文である。
12「親子間事業承継に管理会計システムが及ぼす影響-アメーバ経営の導入企業を例として-」	共著	2024年3月	『管理会計学』32(1)：185-200	事業承継を経験した企業に対するインタビュー調査にもとづき、事業承継の前後での管理会計システムの構築が組織内での後継者の実績として正統性の確保に貢献し、事業承継の円滑化に寄与したことを明らかにした論文である。
13「事業承継時のアメーバ経営を支援する場：カネテツデリカフーズにおける幹部会議の役割」	共著	2024年3月	『立正経営論集』56(2)：79-94	事業承継を経験した企業に対するインタビュー調査にもとづき、後継者を中心とした幹部会議がアメーバ経営の運用に貢献し、事業承継の円滑化に寄与したことを明らかにした論文である。
14「事業承継をめぐる管理会計研究の現状と課題」	共著	2025年1月	『産業経理』84(4)：79-88	管理会計研究では中小企業やファミリー企業の1論点として事業承継が取り上げられ、管理会計システムの貢献が論じられてきた。本論文では、文献レビューにもとづき、事業承継をめぐる管理会計研究の知見を整理したうえで、今後の研究課題を検討した。
(その他)				
1 国内学会報告「顧客にとっての価値を重視したサービス開発における管理会計情報の役割：レジャー施設のリニューアルを例として」	単独	2019年9月	日本原価計算研究学会第45回全国大会（於成蹊大学）	レジャー施設のリニューアルに携わった実務家へのインタビュー結果をもとに、サービス開発における管理会計情報の役割を検討し報告した。
2 国内学会報告「原価企画の今日的課題と対応に関する研究」中間報告	共同	2020年8月	日本管理会計学会2020年度年次全国大会（於名古屋商科大学大学院）	原価企画の今日的な課題とこれへの対応に関する研究をテーマとする日本管理会計学会のスタディグループの中間報告である。
3 国内学会報告「親子間事業承継における後継者の役割構築に管理会計が与える影響」	共同	2020年8月	日本管理会計学会2020年度年次全国大会（於名古屋商科大学大学院）	事業承継を経験した企業の事例をもちいて、後継者の新たな経営者としての役割形成に管理会計が与える影響を分析し報告した。
4 国内学会報告「サービタイゼーションをふまえた管理会計の研究課題の検討」	共同	2020年8月	日本会計研究学会第79回大会（北海道大学・北星学園大学主催，オンライン開催）	サービタイゼーションという現象が管理会計研究にもたらす新たな研究課題を検討し報告した。
5 国内学会報告「サービタイゼーションにおけるサービスパラドックスに関する検討」	単独	2020年8月	日本管理会計学会2020年度年次全国大会（於名古屋商科大学大学院）	サービタイゼーション戦略を採用した企業で発生しているサービス・パラドックスという事象について、これがもたらす管理会計研究の課題を検討し報告した。
6 国内学会報告「サービタイゼーション戦略における原価企画研究：TLCの概念整理を中心に」	共同	2021年9月	日本管理会計学会2021年度年次全国大会（長崎県立大学主催，オンライン開催）	サービタイゼーションの文脈においてたびたび用いられるTLCの概念を検討し、サービタイゼーション下の原価企画のあり方について検討し報告した。

7 国内学会報告「管理会計が後継者と従業員間の信頼および従業員のパフォーマンスに与える影響」	共同	2021年9月	日本会計研究学会第80回大会（九州大学主催，オン開催）	事業承継を経験した企業内での質問票調査の結果にもとづいて、管理会計システムが従業員の後継者に対する信頼や、従業員のパフォーマンスにどのような影響を与えているかを考察し報告した。
8 国内学会報告「レベニュー・マネジメント研究におけるプライシング・ケイパビリティ概念の意義」	単独	2021年11月	日本組織会計学会第4回全国大会（於成城大学）	レベニュー・マネジメントにおけるプライシングの重要性に着目し、プライシングを実行するために必要なケイパビリティの研究の知見にもとづいて、レベニュー・マネジメントの研究課題を考察し報告した。
9 国内学会報告「事業承継におけるアメーバ経営～カネテツデリカフーズにおける幹部会議の役割～」	共同	2023年8月	日本管理会計学会2023年度年次全国大会（於東北工業大学）	事業承継を経験した企業へのインタビュー調査にもとづき，同社で行われていた幹部会議が，アメーバ経営の運用にどのような影響を与えたかを検討したうえで，同社において，アメーバ経営が幹部会議とのセットが事業承継において果たした役割を論じた。
10 国内学会報告「DX 下における会計情報システムの変化がもたらす原価計算の研究課題— 文献レビューにもとづく考察 —」	単独	2023年8月	日本原価計算研究学会第49回大会（於福岡大学）	文献レビューにもとづいてDXに関連する諸概念を整理したうえで，会計情報システムに求められる変容と，それによって提起される原価計算研究上の課題を考察した。
11 国内学会報告「事業承継をめぐる管理会計研究の現状と課題」	共同	2024年9月	日本管理会計学会2024年度年次全国大会（於中央大学）	近年蓄積がすすんだ事業承継をめぐる管理会計研究について，わが国における事業承継の状況と枠組みをふまえたうえで，国内外の知見を整理し，今後の研究課題を検討した。